

中学校社会科授業実践例

歴史的分野と地理的分野の関連を図った実践

単元名 第二次世界大戦と日本（内容のまとめり C（1）近現代の日本と世界）
題目 戦時下の人々（8時間目/全10時間）

導入において、太平洋戦争時の日本の最大進出線が描かれた地図と現在の地図を比較する活動

太平洋戦争時の日本の最大進出線が描かれた地図（教科書）と現在の地図（地図帳）を比較する

「2つの地図から何が出来るのか」という教師の発問によって考察し、対話を行う

本時の課題を設定する



歴史的分野において社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせます。

歴史の舞台という視点から影響、意味や意義を考察させます。

位置や分布、場所を踏まえた政治、経済、文化などの関係、その場所の**自然環境**や、関連する事象間の**空間的相互依存作用**、さらには事象が起こった**地域**そのものに着目することは、歴史に関わる事象を考察、理解する上で重要な手がかりとなります。

〔課題〕

戦争の長期化は、国内や植民地の人々にどのような影響を与えたのだろうか。

日本は現在のどこの国や地域に進出したのかな。

日本が進出した国や地域はどのような場所だったのかな。

日本はなぜこのような場所に進出したのだろうか。

日本が進出した場所は他の国とどのような関係をもっていたのかな。

日本が進出した国や地域の人々はどのように感じたのだろうか。

